

今朝のオックスフォードは-5℃、昨晚から降り続いた雪で辺り一面が雪に覆われていました。

今日は一日オックスフォードでの研修となります。気力体力ともに限界を感じてくる頃ですが、生徒たちは決して自分に甘えることもなく緊張感をもってここまで研修に全力で挑んでくれています。

今朝は7時40分に全員が集合した後、雪で覆われた町並みを見ながら朝食会場へと向かいました。食堂では昨日のミーティングで決意を決めた生徒たちが早速オックスフォード生に話しかけ、彼らの生き様について質問をしていました。しかしまずは相手が自分に興味をもってくれなければ話が續かないことに気づいた生徒たちは、日本から持参した折り紙や将棋を見せて説明をしていました。

午前中3グループに分かれた生徒はオックスフォードにある3つの博物館を訪問しました。最初に訪問したアシュモレアン博物館は世界最古の公共博物館になります。そこには世界中から集められた骨董品や、値段が付けられないほど貴重な芸術作品が多数収められています。次はオックスフォード大学付属の自然史博物館です。ここには約400万点ともいわれている多くの研究者により収集された動物や昆虫の標本や化石・鉱物などの標本が収蔵されています。最後は自然史博物館に併設しているピットリバーズ博物館です。ここにはイギリスの海軍の軍人であったピットリバーズがコレクトした25万点以上の民族・考古資料の展示物が集められています。教科書で何度もみたこともある多くの品をこうして実際に目で確認できる環境が大学周辺に整っていることも、オックスフォード大学の魅力の1つになっていることは確かです。

午後は最初にオックスフォード大学院生4名によるディスカッションプログラムを行いました。最初は大学から大学院への入学方法から目的や理由まで実際の経験から生徒目線で分かりやすく説明してもらいました。今回日本人の学生2名も来てくださり日本人としての背景からも説明してもらいました。最後は小グループに分かれて、質疑応答のスタイルで学生の生き様を知ることができる貴重な時間となりました。

最後は第一回Oxbridge研修から講演していただいている岡本氏にお越しいただき生徒へこれからの彼らの人生に向けて様々な視点で考えることの大切さを話してもらいました。

岡本尚也氏：慶應義塾大学工学部卒、同理工学研究科修了後、ケンブリッジ大学にて物理学博士号を取得。その後、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。ケンブリッジ大学在学中の研究成果がNature Materials等、世界トップジャーナルに論文が掲載された。現在は一般社団法人Glocal Academy代表理事。社会や学術における諸課題を研究的手法を用いて解決する事を目的とし、後進の育成やそれら課題に取り組む個人及び企業・団体を支援している。

夕食後はクリス先生のワークショップが行われました。今回は時事問題を中心に自分の意見や考えを伝える練習をしていきました。同時にこれは明日のプレゼンテーションへの練習にもつながります。日々のワークショップで生徒には英語を話す自信が身につけてきています。

本日の報告を終了いたします。

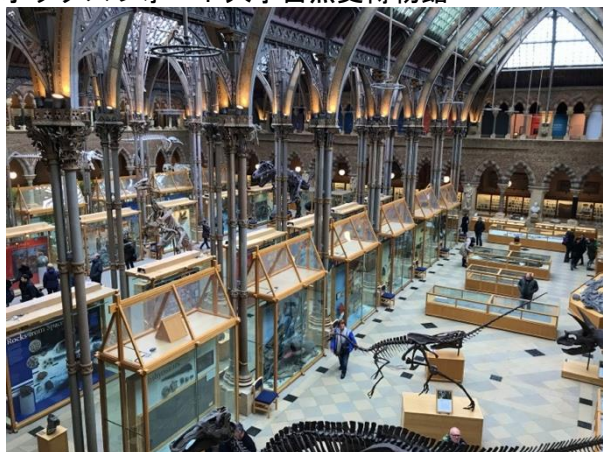
雪景色に覆われたオックスフォード大学前



大学生と交流する生徒達



オックスフォード大学自然史博物館



ピットリバース博物館



オックスフォード大学生の橋本さん



岡本氏による講演

